

町ホームページを集客可能なツールとして活用しては

横尾 政明 議員

現在の町ホームページ（HP）は、主に地元住民への情報発信がメインであり、外部に向けての観光情報については、他町のHPと比較すると非常に不備です。リンク先の千年サンゴの里から観光情報等の発信となっているが、この4月から移転し、新たに活性化センターとして運営されるこの施設のHPは作成するのかが、また、牟岐町の貴重な観光資源である千年サンゴの保全活動を支援するサポートを町HP上で募集することはできるはずで、今後移住定住促進や交流人口の増加は目指していかなければならず、営業、集客

ツールとして活用した町HPにしていただきたい。

福井町長

町のHPだけでは観光PRは不十分であると認識していますが、商工会、物産館、よくばり体験、モラスコむぎなどで、独自のHPを作成してリンクもしていることから、簡単に情報の取得は可能かと考えています。ただ、他町に比べ観光施設が少ないことや観光協会のHPが無いことから情報量は確かに少ないです。今後は町のPRに役立つHPの作成に努めたい。

久米産業課長

牟岐町では県内の多くの市町村が利用しているフォーマット、基本の形式を採用しており、ある程度の制約もあります。特に観光のカテゴリにおいては、スピディーで細かな情報更新と戦略的な情報発信技術が求められると認識しています。現在は、その殆どが外部のリンクに依存しているのが現状です。ただ、町か

福井町長

らのHPの発信となると特定業種をPRすることの難しさや民間業務を請け負うことの是非等、簡単に出来ない部分があります。現在対応としては、町のトップページからトップクやバナナによって、サイトへ誘導を促す工夫を考えています。活性化センターにおいては、観光協会業務も想定し、HPは作成する予定です。情報サイトの更なる充実、強化はもとより観光事業の振興策を打ち出していきたいと考えています。

健康管理センターをもっと宣伝し興味深い施設として募集しては

横尾議員

譲渡に関するお知らせの内容では、希望者は電話で問い合わせくださいとの案内のみです。施設の写真、動画、牟岐町の紹介動画等で視覚に訴えるプレゼンテーションをHP上で出来ないか。



千年サンゴ

